

令和6年第3回市議会定例会

提出予定議案概要等

令和6年8月26日

市政 世界・全国で活躍した小松の選手たち



2024パリオリンピック
ローイング競技男子軽量級
ダブルスカル 14位

宮浦 真之 選手



第106回全国高等学校野球選手権大会
ベスト16 小松大谷高校

全国高等学校選手権大会



男子板飛び込み
優勝

小松大谷高校
杉本 琉音 選手

飛び込み 学校対抗 優勝



男子シンクロ板飛び込み
3位

小松大谷高校
浅田 律 選手

シンクロ板飛び込み 学校対抗 優勝



ローイング男子
シングルスカル 3位

小松市立高校
村井 航太郎 選手

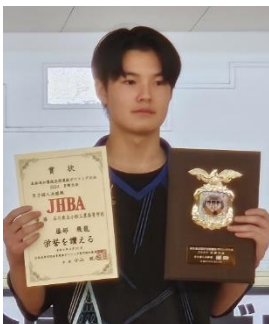


高体連加盟校
全国選抜ボウリング大会
優勝

小松工業高校
藤部 飛龍 選手

全日本中学選手権競漕大会
女子舵手付きクォドルプル1000m
優勝

丸内中学校
谷中一葉選手 中村碧葉選手
宮下葉奈選手 小松享佳選手
南莉子選手



**たくさんの感動を
ありがとう！**

全国大会等誘致

天皇杯全日本バスケットボール選手権大会 2次ラウンド

日時:9月21日(土)~23日(月・祝)

場所:末広体育館

☞ BI所属の3チームを含む日本トップレベルの試合を生で見るチャンス!



<その他(予定)>

○9月

- ・令和6年度日本カヌースプリント選手権大会
- ・令和6年度日本パラカヌー選手権大会
- ・第20回日本カヌースプリントジュニア・ジュニア1-2大会
- ・第52回全日本社会人ソフトテニス選手権大会
- ・令和6年度正武旗争奪高校選抜剣道石川大会
- ・KOMATSU全日本鉄人レース2024

○10月

- ・第38回全日本還暦軟式野球選手権大会

○開催済

- ・7月:令和6年度全中カヌースプリント選手権大会
- ・8月:第7回全国200M競漕in木場潟

プロスポーツ誘致

Tリーグ(卓球のプロリーグ)初のパブリックビューイングを小松で開催

日時:9/21(土)

場所:イオンモール新小松店

☞ 地元「金沢ポート」を小松から応援!



<その他(予定)>

①ゴルフPGAツアー コマツオープン2024

・9/5(木)~7日(土):小松カントリークラブ

②北國銀行ハニービー(ハンドボール)

・9月:3回、1月:3回、3月:1回

③金沢ポート(卓球)

・10月:3回、3月:1回

④金沢武士団(バスケットボール)

・12月:2回、2月2回、3月:2回

⑤PFUブルーキャッツ石川かほく(バレーボール)

・3月:2回

※②~⑤:市民応援デーを設定予定

○開催済

- ・6月:全農WCBF少年野球教室(元プロ野球選手4名)

市政 持続可能な地域公共交通を目指して

～誰もが行きたいときに、行きたいところへ 行くことのできる 社会の実現～

目指す持続可能な公共交通体系

新技術・新制度の活用による

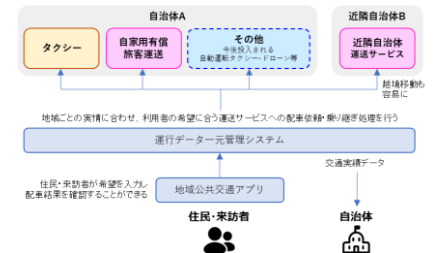
様々な交通モードを組み合わせ



主な取り組み

○小松市ライドシェア

- ▶無料キャンペーン実施 (7/19～9/30)
- ▶一元管理システムの構築 (9月～)



○自動運転バス

- ▶レベル4 実証実験 (10月～)
- ▶路車協調実証実験 (冬季)



○新公共交通体系の構築に向けた理解促進

- ▶セミナー・ワークショップの開催 (10月～)

9月～ 地域交通の新しい部署を設置して推進体制を強化

	補正予算額	累 計
一般会計	4億3,341万円	543億4,452万円
全会計	5億8,421万円	1,132億8,992万円

1 世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

- ・南砺市との共同出展に向けた作品制作，機運醸成イベント開催等

①② 大阪・関西万博出展費 300万円

- ・姉妹都市を締結する宿毛市との議会間交流

③ 宿毛市との交流 110万円

- ・首都圏等の企業経営者との情報交換の場「小松サロン」を開設

④⑤ 広報・広告・宣伝費 50万円

2 ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ

- ・企業マッチングイベントにて，企業誘致を実施

⑥ 企業誘致推進費 55万円

3 子どもたちの輝く未来創造都市こまつ

- ・国基準の改正に伴う委託料の追加，賃金改善への特例加算

放課後児童クラブ運営費 7,920万円

4 誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

- ・子育て世帯向け戸建て地域優良賃貸住宅の整備，余剰地の分譲

⑦⑧ 本江地区住まいづくり推進費 2億6,460万円
(債務負担行為)

- ・65歳以上対象の新型コロナワクチン接種費用(ワクチン価格の見直し)

予防接種費 1億2,450万円

5 ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

- ・複合施設着手に向けた既存施設の解体実施設計，樹木調査等

⑨ 未来型図書館づくり推進費 1,800万円

- ・駐車場整備に向けた基本計画，測量，実施設計

⑩ 市民センター改修費 970万円

- ・庁舎6階等をフリーアドレス化

スマートシティ・スマート市役所推進費 1,100万円



宿毛市との姉妹都市 提携に向けて



経緯

宿毛市出身である、(株)小松製作所の創業者・竹内明太郎氏によって生まれたつながりをもとに、**両市の友好協力関係の発展**を目的とした姉妹都市提携へ

令和6年7月19日
「姉妹都市提携に向けての確認書」に調印



年内に
「姉妹都市締結に関する協定」に調印(予定)
小松市にとって初の国内自治体との姉妹都市提携



南砺市との自治体間連携 協力に関する協定締結



連携協力事項 締結日: 令和6年8月19日

1. 観光の振興に関すること
2. 文化財の保存活用に関すること
3. 地域公共交通の取組に関すること
4. 農山村の振興に関すること
5. 環境の推進に関すること
6. その他、両市が必要と認める事項



九谷焼



井波彫刻



曳山曳揃え
(お旅まつり)



城端曳山祭



自治体ライドシェア

産業界の強いつながりを活かしながら
まちづくりにおいても相互に連携協力

北陸の伝統工芸を世界へ！ 小松市「九谷焼」× 南砺市「井波彫刻」

世界に誇る伝統工芸の美しさ、技術の高さを
国内外へ発信し、産業振興・観光誘客を拡大



2025年
大阪・関西万博
いのち輝く
未来社会の
デザイン

大阪・関西万博 南砺市・小松市連携実行委員会 設立 8月19日

令和6年度事業計画

- 九谷焼・井波彫刻による共同作品の制作
「九谷焼」と「井波彫刻」、両市を代表する寺院
「那谷寺」と「瑞泉寺」は日本遺産の構成文化財で
あり、これらを掛け合わせ、両寺院にある「山門」
をモチーフに作品を制作する
- 両市内外でのプロモーション・機運醸成
両市、大都市圏での展示会等の開催や情報発信



大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」出展

開催期間：令和7年7月26日（土）～8月1日（金）

会場：西ゲートゾーン EXPOメッセ

タイトル：小松九谷と井波彫刻で魅せる日本の新たな伝統工芸

小松駅東地区複合ビルオフィス募集

R7夏完成予定



募集期間: 7/1~8/31

現公募手法

- 1 アザワークス複業人材の活用
- 2 CBRE(大手不動産コンサルティング会社)での情報発信・仲介
- 3 ホームページ等による情報発信

9月下旬 企業立地等促進委員会開催
(進出企業の審査・優先交渉権の協議)

新たな公募手法の追加 (予算額: 55万円)

自治体×企業マッチングイベントへの参加

R6.10月開催予定 最大16社との商談が可能
韓国企業も参加

※小松サロンとも連携し、更なる情報発信を図る

女性や若者の雇用のミスマッチを解消し、
「産業創生都市こまつ」を推進

「小松サロン」の開催(in東京) (予算額: 50万円)

- 交流のある首都圏企業等と
現況報告や意見交換会を実施
→ 新たな人流・物流の創出



- 市長及び市幹部職員による
営業活動 (事業者のホスト対応)
→ マーケティング能力向上、人材育成

小松市と首都圏をつなぐ
「リビングラボ」

日本海側拠点都市「小松市」の応援団獲得

日時: 11月中旬 19時00分~21時00分

場所: 東京都(23区内)

参加者: 100名を想定



本江地区住まいづくり推進費 (本江町住宅跡地活用事業)

債務負担行為額：2億6,460万円
(R7～8年度)

～「子育てするならダントツ小松」の居住環境づくり整備～

【事業概要】

地域コミュニティ維持・活性化につなげる、**子育て世帯**対象の地域優良賃貸住宅整備事業を実施

- ・市営住宅の解体 (4棟18戸)
- ・子育て世帯向け 戸建て賃貸住宅の整備
(3LDK 6戸) →建設後、市が買取
- ・余剰地の売却 (民間事業者による**宅地分譲**)
- ・民間のノウハウ等を活用した**PFI事業**による一括実施

【事業用地】 (土地面積 約2,700㎡)



【事業効果】

市営住宅解体による安心・安全の確保

子育て世帯等への良質な住居、宅地の供給

地域コミュニティの維持・活性化 

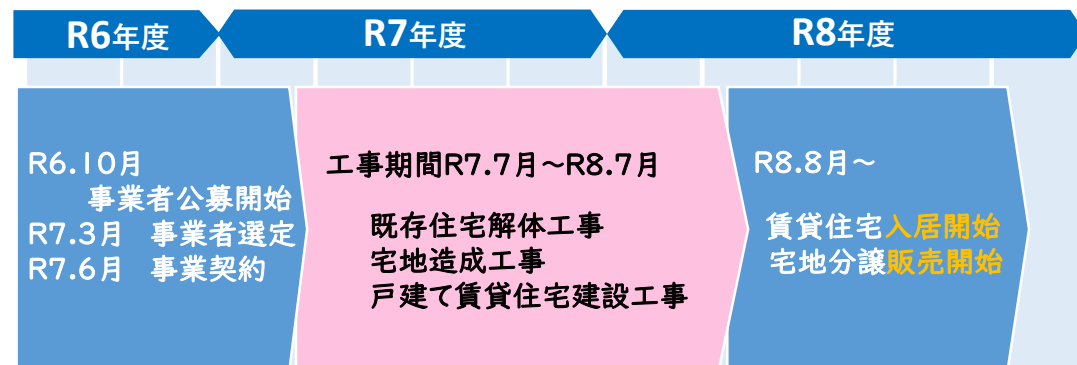
既存市営住宅



完成イメージ



【スケジュール】



予算 未来型図書館の整備について

～芦城公園周辺のまちづくりの転換期へ～

予算額：1,800万円

未来型図書館の基本計画策定

有識者による「アドバイザリーボード」の設置 (6/27～)

- 図書館、博物館、市民共創分野等の4名で構成
 - ・ 基本計画策定への助言・提案
(施設の整備計画・管理運営計画等を議論)
 - ・ リビングラボの企画・運営への助言

「リビングラボ」での市民との対話 (8/4～)

- R5事業方針の具体化
 - ・ 機能、サービス、建築空間等
 - ・ ティーンズ版の出張開催
(中学校・高校への訪問)
 - ・ オンラインツールを活用した意見投稿



民間事業者との個別対話

- 民間収益施設や事業手法の可能性を把握
 - ・ 個別対話 (4月から31社)
 - ・ アンケート調査の実施 (8月～)

令和6年度末 基本計画策定
令和7年度 官民連携による事業着手

既存施設の解体・機能移転

既存施設の解体設計等(1,800万円)

- 既存3施設の解体設計
 - ・ アスベスト除去を含めた実施設計



小松市公会堂



小松市立博物館



小松市教育研究センター

- ・ 図書館は未来型図書館整備後に解体

- 既存施設周辺の樹木調査
 - ・ 移設等に向けた樹木医による調査
 - ・ 約250本の生育状況評価



教育研究センターの機能移転



市役所車庫棟

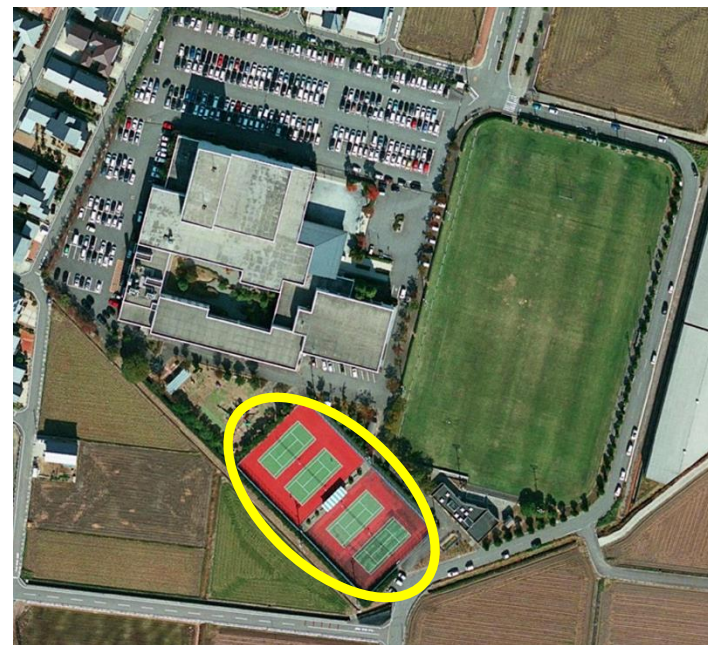
- 相談部門・ふれあい教室は、市役所車庫棟へ
 - ・ 利用しやすい機能の確保やわかりやすい建物名称に
- 学校教育に関する研究・情報教育部門は、市庁舎6階へ

令和6年度 解体設計完了
令和7年度 解体工事に着手

公会堂の代替機能としての役割を担っていくため
新たに**駐車場**を整備

大ホール・小ホールの同時利用
施設の有効活用を拡大

低利用のテニスコート敷地を活用し、
駐車場とアクセス道を整備



【9月補正予算】

- ▶ 基本計画
(駐車場・アクセス道の配置等)
- ▶ 整備予定地の測量調査
- ▶ 実施設計



事業スケジュール

R6

R7

基本計画

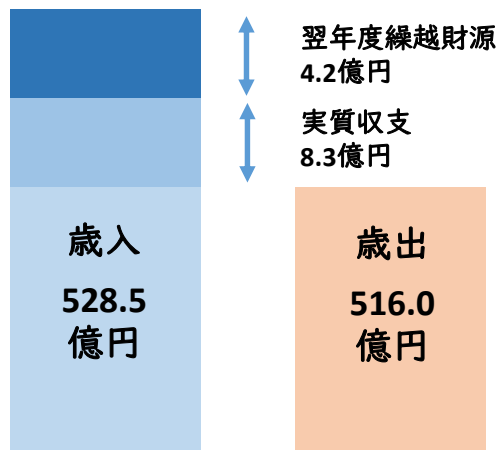
駐車場・アクセス道 配置等

測量調査

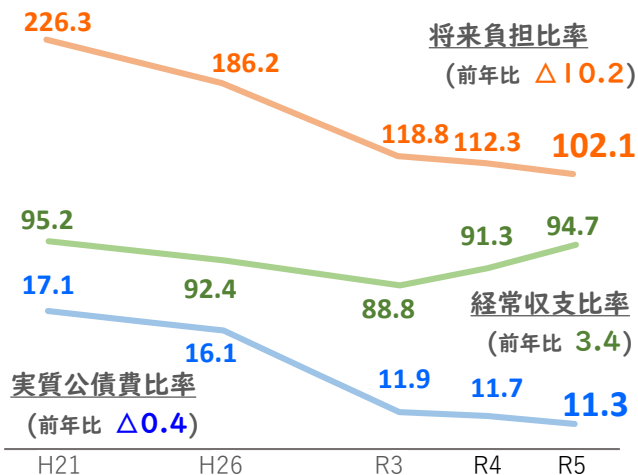
実施設計

工事

一般会計



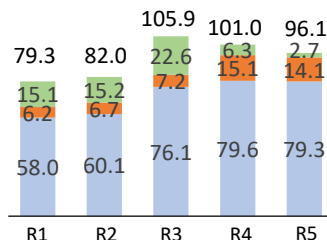
健全化判断比率等



歳入

■実質地方交付税

[上段：臨時財政対策債] [中段：特別交付税]
[下段：普通交付税]



災害及び大雪による特別交付税措置、
臨時財政対策債の減

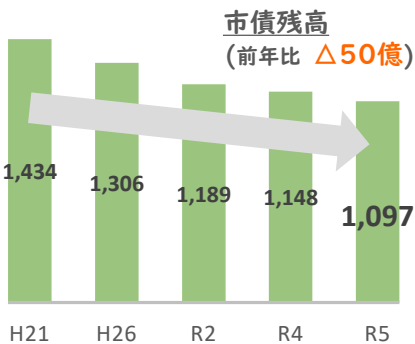
■市税



単位
(億円)

賃上げによる個人所得の伸びや製造業を中心とした設備投資等により増

市債残高



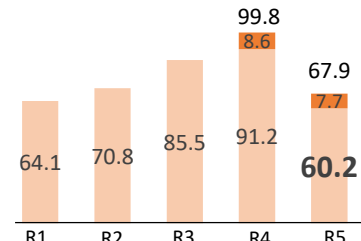
単位
(億円)

発行額減少、繰上償還、産業団地売却等により前年比50億円減少

歳出

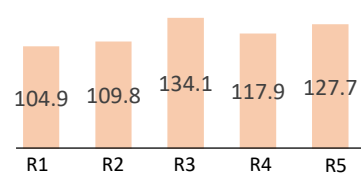
■投資的経費

[上段：災害復旧事業] [下段：普通建設事業]



大型投資(小松駅周辺・幸八幡線整備等)の完了により減少

■扶助費



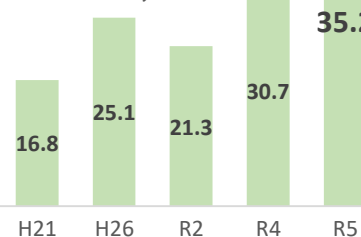
単位
(億円)

物価高騰給付金や子育て・障がい者自立支援費の伸びにより増

基金の確保

[主要3基金]
財政調整基金、地域経済活性化対策基金、減債基金

基金残高
(前年比 +4.5億)



単位
(億円)

産業創生に資する将来に向けた投資等に備えて基金を積み立て

小松市都市デザインの改訂について



小松市2040年ビジョン R5.11月策定

6つの都市像を設定し、
市制100周年を迎える2040年の
小松市の姿を具体的にイメージ化したもの



小松市都市デザイン 今議会にて改訂予定

まちづくりスローガン
「小松を明るく、にぎやかに！」の下、
目標とするまちの将来像や
まちづくりの考え方を示すもの

好循環をつくり出し、明るくにぎわう小松市の姿をイメージし
策定したビジョンとの整合性を図るため、都市デザインを見直し

次のアクション

都市デザイン・ビジョンの実現に向けた行動計画として、
(仮称) **小松市ビジョン総合戦略** を作成中

人口目標

市制100周年の2040年度に 10万人をキープ

【重要指標】

・活力創出コア人口	5万8千人以上	(18歳以上70歳未満の人口)
・子ども人口	1万7千人以上	(18歳未満の人口)
・合計特殊出生率	2.0以上	
・いきいきシニア率	96%以上 (75歳)	各年齢における要介護認定 (要支援を除く)を 受けていない人の割合
	90%以上 (80歳)	
	80%以上 (85歳)	

都市目標

世界に時めく 日本海側の拠点都市こまつ

市制100周年となる2040年に向かって、
持続的な成長で、地方都市の発展をリード
人びとが集う明るくにぎやかな未来を創り出す

3つの強い意志を持ち、 これからの小松市をデザインする

- ① 直面する課題から逃げず、後世に先送りしない
- ② ウラ日本から新しいまちづくりに挑戦する
- ③ ふるさとこまつの持続と発展を期す

小松市都市デザインの改訂について

6つの都市像と主な内容 都市像は互いに連関し、それぞれが好循環をつくり出す重要な要素となっている

都市像

1 世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

- ・地方のハブ空港を目指す小松空港、周辺には新しい産業を構築
- ・小松駅周辺を北陸のビジネスの中心街、そして公立小松大学がコアとなる人材育成の集積エリアに
- ・類稀なアクセス力と産業力・住みよさを活かしたまちづくり など

都市像

4 誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

- ・治水や治山、デジタル技術の活用、地域力で、災害や感染症に強いまちに
- ・急性期医療や高度医療の提供、企業や大学と共同で進める医療研究、地域医療機関と連携した健康づくりの浸透、福祉の充実
- ・市内全域での地域交通再構築で交通体系を整備 など

都市像

2 ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ

- ・本市産業の礎であるものづくり産業の持続的な成長を後押し
- ・スタートアップ育成や産業転換支援などでバランスの取れた産業構造に
- ・個々の生活環境に応じた働き方で誰もがストレスフリーに働ける
- ・1次産業の魅力を高め、異職種や都市圏からの働き手増加につなぐ など

都市像

5 自然が映え文化が息づくふるさとこまつ

- ・農村の魅力を発信し、就業の増加や新産業・地域居住の創出等につなぐ
- ・木場潟を子どもが集まり全ての世代に愛される北陸最大の水郷公園に
- ・伝統文化や伝統産業を継承させ、全国・世界に発信
- ・ごみ減量化や環境活動、森林保全等でゼロカーボンシティを推進 など

都市像

3 子どもたちの輝く未来創造都市こまつ

- ・ライフステージに応じた親子へのサポートで、若者に選ばれるまちを実現
- ・雄大な自然環境が感性を刺激し、子どもたちの健やかな成長を育む
- ・質の高い教育、パーソナル教育やキャリア教育を実践
- ・学校環境の機能アップ、一貫教育・学校環境整備の在り方などの検討を加速 など

都市像

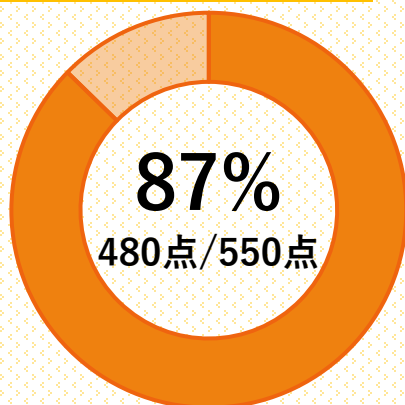
6 ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

- ・市民と共に考え創り上げる、新たなシンボル未来型図書館整備を推進
- ・プロスポーツ等の誘致やスポーツ交流の拡大
- ・デジタル社会を推進し、買い物・仕事・暮らしや、移動面等の負担を軽減
- ・住む人も訪れる人も心が潤うワンランク上のまちづくりを推進 など

市政 「新しい小松をつくる具体策」 取組状況

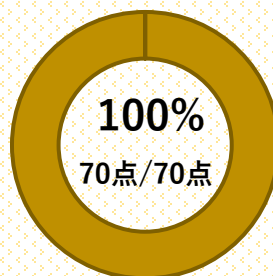
55の具体策進捗状況

全体

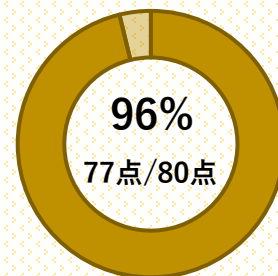


分野別

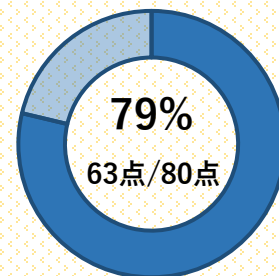
新型コロナ対策・医療



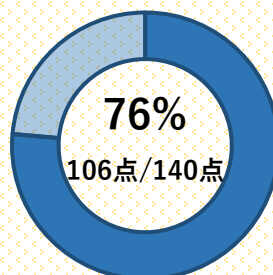
子育て・教育



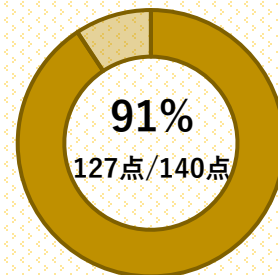
福祉・高齢者



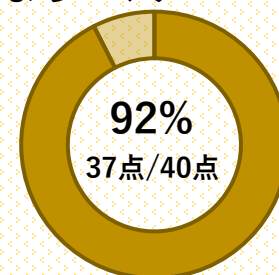
まちづくり・暮らし



観光・農林水産業・商工業



災害・防災につよいまちづくり



完全実施 33 事業 330点
一部実施・着手済 22 事業 150点

※各事業を下記基準にて10点満点で点数化

1～2点	3～4点	5～6点	7～9点	10点
着手済 (進展無)	着手済 (準備)	進展有 (課題有)	進展有 (順調)	完全実施

【完全実施の主な事業】

- ・学校給食の無償化
- ・子どもの各種予防接種の完全無償化
- ・うまれた赤ちゃんにお祝い金
- ・子育てにかかる費用・ストレスを軽減（紙おむつ定期便）
- ・市独自の奨学金の拡充
- ・認知症相談窓口の充実
- ・大胆な企業誘致！
- ・新幹線開業にむけた新交通体系の確立
- ・大会・コンベンションの誘致
- ・災害時応援協定を充実させる

など

【一部実施・着手済の主な事業】

- ・わくわくする未来型図書館の建設
 - ・人やモノがあつまる日本海側の拠点となる空港整備
 - ・医療介護の連携を強化
 - ・地場産業・起業を応援する
- など



- R6（仮称）ビジョン総合戦略 策定予定
- R6.9 都市デザイン改定予定
- R6.3 北陸新幹線小松駅開業
- R5.11 **2040年ビジョン** 策定
- R3～ 55の具体策の推進